

令和 8 年 2 月 6 日
消 防 庁

消防防災科学技術研究推進制度の令和 8 年度緊急枠研究開発課題の募集

消防庁では、消防防災分野における課題解決や重要施策推進に資するため、消防防災科学技術研究推進制度（競争的研究費）により研究開発を推進しています。

近年発生した災害等を踏まえ、消防活動現場で活用できる技術の研究開発を緊急枠として募集しますので、公表します。

1. 募集期間

令和 8 年 2 月 6 日（金） ～ 令和 8 年 3 月 6 日（金） 12 時まで

2. 対象とする研究開発課題

（1）地震災害対策に資する資機材等の開発・活用検証

＜研究開発の例＞

- ・ 災害後の狭隘な道を通行できる小型の車両や、携行しやすい軽量化された資機材の開発
- ・ 消火用ドローンや、無人走行放水ロボットを活用した消火戦術の研究

（参考）

輪島市大規模火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会報告書

https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/items/post-149/03/houkokusyo.pdf

（2）林野火災対策に資する資機材等の開発・活用検証

＜研究開発の例＞

- ・ 消火薬剤及び延焼抑制剤を活用した新たな空中消火の開発・消火戦術の研究
- ・ 消防以外の分野で使用されている重機等の技術を活用した消火戦術の研究
- ・ ドローンによる空中消火など、新たな消火戦術の研究
- ・ 広範囲の炎や熱を検知し、火災の発生源となり得るかを自動判別するための技術の開発

（参考）

大船渡市林野火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会報告書

https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/items/post-167/06/houkokusyo.pdf

(3) 地下閉鎖空間における救助活動に資する資機材等の開発・活用検証

＜研究開発の例＞

- ・遠隔から要救助者を検索する技術の開発
- ・地下内部構造を立体データ化し、地盤の空洞や劣化箇所、崩落の前兆を早期検出する技術や、ガス分布を把握し、活動リスクを評価する技術の開発
- ・隊員の位置を把握し、迷失を防止する技術や、隊員の心拍・体温等の変化を把握し、体調不良を早期に発見する技術の開発
- ・隊員視点の映像をリアルタイムで共有するなど、地下空間の隊員と円滑なコミュニケーションを実現し、指揮判断を支援する技術の開発

(参考)

令和7年度 救助技術の高度化等検討会「地下閉鎖空間における救助技術の高度化」
第3回資料2－1 現場活動の課題とニーズ
https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/items/post-179/03/shiryoku2-1.pdf

(4) 密集住宅市街地火災対策に資する資機材等の開発・活用検証

＜研究開発の例＞

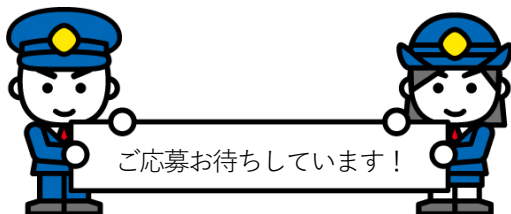
- ・狭隘道路での迅速な消火に資する技術の開発
- ・延焼拡大防止に資する技術の開発
- ・延焼拡大状況の把握等に資する技術の開発

(参考)

大分市大規模火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会
第1回資料4 大分市大規模火災における消防活動等の概要
https://www.fdma.go.jp/singi_kento/kento/items/post-186/01/shiryoku4.pdf

3. 応募方法

公募要領 (<https://www.fdma.go.jp/mission/develop/develop001.html>) に従い、府省
共通研究開発管理システム (e-Rad) により申請を行ってください。



＜ 担当 ＞

消防庁技術戦略室

中嶋 ・ 西田 ・ 岩井 ・ 佐々木

Tel : 03-5253-7541

Mail : gisei2_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を
「_atmark_」と表示しております。
送信の際には、「@」に変更してください。